

議会モニターとの意見交換会（令和8年3月23日）会議録

（公開用）

出席者

議会モニター 8名

養父市議会

役職等	氏名	役職等	氏名
議会運営委員会委員長	西垣 司	議会運営委員会副委員長	藤原 芳巳
議長	谷垣 満	副議長	深澤 巧
議員	西垣 勲一	議員	川瀬 稔
議員	田路 之雄	議員	北山 愛
議員	前田 稔	議員	浄慶 耕造
議員	高橋 展子	議員	西田 雄一
議員	津崎 和男	議員	塚本 正彦
議員	石本 毅	議員	井戸 弘美

日程

1 開会（10：00～）

【議会運営委員長 西垣 司】 皆さん、おはようございます。

本日は大変お忙しい中、議会モニターと議会との懇談会ということでお集まりいただきました。今日はこのような天気ですが、春になりましたら、こういった雨が降りますと野山の芽立ちもよく、これからしっかりと桜の花も満開になるのではなかろうかというふうに思います。皆さんも季節の変わり目につきましては体に十分注意していただきまして、春を迎えていただきたいと思います。

今日は議会モニターさんと養父市議会の意見交換を御案内させていただきましたところ、議会モニター17名の方の中から8名のご出席をいただいております。多くのモニターの皆様にご出席をいただけるということで、大変感謝申し上げます。

今回は、昨年に続きまして、議場での意見交換を企画いたしました。議会モニターの皆さんにも、実際に議場へ着席いただくことで、議会のことを少しでも御理解いただけるという機会になればと考えております。

最初に当たりまして、本日の会議録作成および記録のための録音と写真撮影について御了解をいただきたいと思います。

また、本日は養父市ふれあいネットのビデオだよりに送るためにビデオの撮影を行いますので、御理解をいただきたいと思います。ケーブルテレビや広報紙、ホームページなどで本日の画像や映像を活用させていただきたいと思いますので、御了承をお願いいたします。もし画像や映像の使用が不可ということがございましたら、事務局までその旨をお申し出ください。

それではお手元に配付をしております次第に沿って進めさせていただきます。

意見交換の終了時間は12時を予定いたしておりますので、進行には御協力をお願い申し上げます。

では最初に当たりまして、谷垣議長より御挨拶を申し上げます。

2 議長挨拶

【議長 谷垣 満】 皆さん、おはようございます。本日、御参集を賜りました議会モニターの皆様には厚く御礼を申し上げます。

また、年度中には合同研修会への御参加や、本会議、委員会の傍聴、またケーブルテレビ等での視聴を通じまして、多様な御意見、御指摘を賜りましたことにも感謝を申し上げます。

養父市議会におきまして、この議会モニター制度は議会基本条例制定から長く続く制度で、モニターの皆様には、市民と議会を繋ぐ大切な役割を担っていただいております。

近年は、この意見交換会へ御参加をいただく皆様の人数も増えておりまして、議会としても大変重要な機会と捉えております。よりよい議会の実現に向けて、御意見を積極的に反映させてまいりたいと考えております。

大変短い時間ではございますが、闊達な意見交換の機会となりますよう、よろしく願いを申し上げます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

3 自己紹介 【出席者全員】

4 協議事項

テーマ① 今期議会の取組について

【議会運営委員長 西垣 司】 それでは、意見交換会に入らせていただきます。

今回は皆様のお手元に配付いたしておりますように、3つのテーマで行いたいというふうに考えております。

まず一つ目は、今期議会の取組について。2番目に、この議会におきましての一般質問について。3番目に、議会だより第92号について。この3つのテーマで意見交換を進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

皆様から御意見をいただきたいところですが、全てのテーマについて全ての方から発言をいただくのは、時間の都合上難しいと考えております。

そこで御協力をお願いしたいと思います。テーマごとに、まずはモニターの方に発言をい

ただきまして、その後に議員から発言する形で意見交換を進めてまいります。何人かの御意見をお聞きしたところで、次のテーマに進んでいきたいと思っておりますので、進行に御協力をよろしくお願いいたします。

テーマを3つに区切っておりますので、時間を見ながら進行していきたいと思っております。

議会モニターの皆様は、いずれかのテーマで必ず1回は御発言をいただきたいと考えておりますので、御協力をお願いいたします。時間の都合もございしますが、1回の発言時間は大体3分程度というふうの一つの目処として御協力をお願いしたいと思います。

まず一つ目のテーマ、今議会の取組について、議会モニターの方から御意見をいただきたいと思っております。

別紙に「今期の養父市議会の取組」を添付いたしておりますので、参考にさせていただければよろしいかと思っております。

皆様のお手元に配付いたしております、今期の養父市議会の取組として一つご紹介をさせていただきますと思います。皆さんと一緒にまちづくりを考え、市の政策に生かすために意見交換会や研修会などを行っておりますので、その内容について触れさせていただきます。

議会報告会といたしましては、毎年3月定例会と9月定例会の後に、市内の各地域、これは自治協議会ごとでございますけれども、議員が出向いてまいりまして、定例会の報告や地域の課題についての意見交換会を行っております。

次に議会モニター制度につきまして御説明いたします。定例会や議会の活動に対しての意見を求めています。また、モニターは、各種団体の推薦または一般公募により、年度ごとに募集をしております。そしてその活動をお願いしているというところがございます。

次に、市民合同研修会といたしましては、議員の活動を知ってもらうというためにも、議会の仕組みやまちづくりを皆さんと一緒に学び、またそういった機会を作っております。

本年度においては8月1日に、YBファブにおきまして、「議会基本条例とこれからの地方議会」と題しまして、講師に元全国都道府県議会議長会事務局次長でいらっしゃいました内田一夫氏を招きまして、市民と議会合同の研修会を開催いたしております。

次に、高校生との意見交換およびオンライン懇談会ということで、学生、若い世代や子育て世代などを対象とした意見交換会の機会を持っております。オンラインなど、議会報告会の会場に出向くことが難しい方にも参加しやすい方法や、時間で行っております。本年度は1月30日に、子育て世代の皆さんとオンライン懇談会を開きまして、参加いただきました19名の皆さんと子育てや教育の課題について意見交換を行いました。

これが今期の養父市議会の取組ということでご紹介をいたします。

それでは議会モニターの皆様からの御発言をお願いしたいと思います。

モニターの皆様、このテーマ①につきましての御発言がございましたら、挙手して御発言をいただきたいと思っております。

【議会モニターA】 発言させていただきます。私、ちょっと興味を持ったのは高校生との

意見交換会っていうやつなんですけど、議会だよりの第91号にね、高校生との意見交換会をしましたよっていうのが出てますね。これ見れば大体概要はわかるんですけどね。私の思いとしてはね、こういう交換会やりました、意見聴取しましたといってもやっぱり限度がある。テーマを決めて、例えば八鹿高校とは、若者に選ばれるまちになるには、ということで話をしたということなんだけど、高校生が何を考えてるか、いろんな範囲を広げればいろいろありますからね。高校の側としては高校の側で、地域に対する問題、地域に対する興味こんなん持ってますよという発表会みたいなことをやってるわけです。

すいません、追加で一つお渡ししたいんですけど、もう終わりましたけど、「八校学びの祭典」というので2月7日に一日かけていろいろやりました。それに私は出たんですけども、そのときに面白いなと思ったのは、高校生の側から市民の方と、お年寄りって書いてありますけれども、お年寄り、高校生、人生ゲーム交流会というのをやりませんかと言って仕掛けた、場を持ったというようなチラシがありましたんで、谷垣議長のほうには写しを提供しておきました。ぜひ見ていただけたらありがたいと思います。参加条件として、60歳以上の地域にお住まいの方、昔を振り返りたい方、ショッピングタウン・ペアで高校生とお話しませんか。高校生と一緒に、オリジナル人生ゲームを作って遊びます。人生ゲームを作りながら、高校生に人生の体験談や思い出を聞かせてもらえませんか。こういうような提案ですね。非常に面白いと思うんだけど、結果からは、参加者1人もなかったそうです。ほんで高校の先生の知り合いとかね、ちょっと呼んで来ていただいて、それでも4、5名集まったように言ってましたね。ほんで会は無事終了したというようなことをこの学びの会で紹介をしました。

高校生の側からこういうのを声をかけるというのは非常に貴重なんでね。来年度以降、年度が替わると先生方も異動なんかありますんで、体制は変わりそうですけど、ぜひ続けてやってもらったらいいんじゃないかということをお個人的には申し上げました。以上、御紹介です。

【議会運営委員長 西垣 司】 ただいま議会モニターAさんからこのような御意見がございました。これにつきまして議員から何かお答えするというようなことはございませんか。

【議会運営副委員長 藤原 芳巳】 議会モニターAさん、ありがとうございます。この高校生との話し合いの意見交換のテーマとしましては、議会の方でたたき台は作りますけれども、それぞれの高校に御意見をお伺いをするということをステップとしては必ず入れるようにしています。だから今回も、八鹿高校からは少し提案もいただきながら意見交換をしていたという経緯があります。

【議長 谷垣 満】 ありがとうございます。高校生との意見交換会は令和7年で4回目になりまして、令和元年から続けておる取組でありまして、議会とのなかなか接点が少ないところにも声をかけていこうというという取組をやってみようということで始めまして、ちょっと隔年ごとにはなっておりますけれども、参加した高校生の皆さんからは大変好評

で、毎回声をかけていただいたり積極的に御協力をいただいておりますというところであり
ます。

この令和7年につきましては、これまでの意見交換だけではなくて、ワークショップの形
式を取り入れてみようということで、前回の広報紙には出ておるんですけども、付箋に貼っ
て、お互いに同じ立場で膝を突き合わせてやるほうがいいんじゃないかとやってみました
ら、これが非常によくてですね、普段出ないような意見もたくさん出てきましたし、やっぱ
りこの世代とか、そのやり方に合わせて、議会も報告会なり意見交換をするというのが重要
だなということは、深く認識したところでありますし、また、議会モニターAさん、いつも
御意見とか御提案いただいておりますで大変ありがたく思っております。

また、今回の年配の方と高校生との人生ゲームをしながら昔を振り返るといような視
点も、やっぱり高校生ならではのところもありますので、議会のほうも参考にさせてい
ただきながら、そういう視点を我々も持っていきたいなと思っておりますので、御提案とし
てしっかり受け止めさせていただきたいと思えます。

【議会運営委員長 西垣 司】 テーマ①につきまして、モニターの皆様から他に御意見
が

ございましたら、御発言をお願いします。

【議会モニターB】 私ども一般社団法人南但青年会議所といたしましては、昨年、こども
食堂、ちょっとこども食堂のイメージといたしましては、貧困層の方が行くイメージがすご
い多いうところ、南但青年会議所といたしまして、最近はおじいちゃん、
おばあちゃん、御高齢の方との関わりっていうのがすごい少なくなってきた時代でありま
すっていうところで、こども食堂を企画させていただきまして、養父の地域局で行わせてい
ただきました。そちらのほうですね、但馬農業高等学校さんともコラボさせていただきま
して、500名ほどの方に来ていただきました。

私ども、本年度の取組といたしましては、ベビーファースト宣言と言いまして、ベビーフ
ァースト、こどもを第一番に考えるというテーマで、本年度12月31日までは活動させて
いただこうかなと思っております。ただ、やはり南但青年会議所といたしましては、市議の
方々にもちょっと後押しをいただきまして、何か一緒に前向きにしていけないかなってい
うところをちょっと質問させていただきたいです。

【議会運営委員長 西垣 司】 ありがとうございます。これにつきまして、議員のほう
から何か御意見ございませんか。

【議員 浄慶 耕造】 議会モニターBさん、どうもありがとうございます。南但青年会議
所の皆さんがね、本当に、一つはやっぱり民主主義の発揚といいますかね、いろいろこの選
挙に当たって公開討論会なんかを企画してもらったりですね。それからこうやって日頃、皆
さん方はいろいろ企業の経営者であるわけですけども、その中から地域貢献ということで、
いろんなこういう今回のこども食堂の企画なんかやっただいていただいていることは非常にあり
がたいというふうに思っています。ですから、そういう南但青年会議所の活動そのものが、

市民、地域社会の中でしっかり理解されていくというようなことを通じてね、いろんな御活躍いただける場は本当にあるし、やっぱりそういう民間の活動に依拠しなかったら、行政ばかりでやれるわけじゃないわけですから、そういう意味でも、今後ともですね、我々も南但青年会議所さんがこういうことを考えて、こういうことをやられているということは、いろんな方にお伝えをしたいと思いますし、その中で、いろんな形でコラボしてですね、また御活躍いただければ本当に嬉しいと思っております。よろしくお願ひします。

【議会運営委員長 西垣 司】 他に皆さん何か御意見ございせんか。

【議会モニターC】 先日行われました、オンライン懇談会の件についてなんですけれども、そのことからそんなに日にちが経たず、一般質問の中で井戸議員さんが取り上げていらっしやっただと思うんですけど、何か思いといいますか、取り上げられたきっかけといいますか、ありますでしょうか。

【議員 井戸 弘美】 ありがとうございます。今回、私だけが実はそのオンライン懇談会の中で同じ保護者の方、子育て世代の方とも同様に、私だけがオンラインで参加させていただいた状態にして、その中で見たときに、やっぱり危機感を感じられてる方と、そうでない、ただ単に言われて参加されてる方っていうのの違いがやっぱり見えてるのがすごくあったんですけれども。ただ、その個人的にちょっと塾を経営しているのもありまして、いろんな話を聞く中で、これは大事、これは違うなっていうところを選別した中で、やっぱり訴えていきたいものっていうのを先に出したいっていうことで、今回は一般質問で提出させていただいたっていう感じの経緯になります。

【議会モニターC】 ありがとうございます。なぜこういうことを質問させていただいたかという、私なりに考えたのが、緊急性ということと、あと重要性っていうことの2つがあったのかなと思いました。今お話をお聞きしますと、両方あったのかなというふうに感じています。なぜこの議題の中で、コーナーの中でそういった質問をさせてもらったかといいますと、ただ単に参加されてたっていうところの方はちょっとわからないんですけども、重要性を持って参加された方については、そういった一般質問で、後で長年経ってからということではなく、すぐにそういった質問に出していただいたっていうことは、すごく、どういふんでしょうか、考えていたこと、もしくはこういうふうにならないかっていうような要望が、どういふんでしょうかね、通じたんだ、取り上げてもらえたんだっていうところが、目に見える形で実現、体現されてるのではないかなというふうに感じたので取り上げさせてもらってます。

ですので、こういった動きが他のこういった議会報告会とかモニター、もしくは高校生のもしかりですし、また2回、3回、4回と続いていくだろうオンライン懇談会にもそういった流れが続いていけば、参加されてる方もすごくモチベーション上がっていくのではないかな、重要だと感じていただけるのではないかなと感じました。

【副議長 深澤 巧】 ちょうど1年前に議会改革推進特別委員会を立ち上げさせていただきまして、もう既に11回ぐらい、委員会を10回、11回開いて、その間に今までの、

例えばちょうど議会基本条例で年1回以上、議会報告会を開くという規定をしておるんですが、その検討の中で、ずっとやってきた蓄積はあるんですけど、やはり参加できない方とか、あるいはそういう条件、いろいろテーマとかも絞ってやってみたらどうだという意見、それから広報なんかに関しても、今でいうSNSとかそういうものも利用しながらやろうじゃないかということで、まず一遍試行的にやってみようということで、委員会の中でプロジェクトチームを作りまして、井戸さんも入られてましたですけど、企画をしたものであります。やってみて、思いのとおり、やはりテーマを絞ったり時間をそういう8時からしたんですけど、そういうやり方について一定の手応えもありましたし、逆にそのような参加された方に、私今度今回感じたのは、子育てをテーマにしたんですけど、なかなか議会でもいろんな委員会とか各委員さん、議員さんが頑張って実現しているようなことがですね、ほとんど伝わってないというようなことを逆に感じましてね。いろいろ取り組んで、今度井戸さんが就学援助の問題とか、それから不登校の問題も取り上げましたけど、そういったことをしっかりやってるというようなことを逆にもっと発信していくことで、住民の皆さんと議会の距離がぐっと縮まるんじゃないかということに非常に感じましたので、改めてまたテーマを絞ったり、ああいうやり方を含めてですね、1回目の、今まとめを反省しておりますので、それに立って発展的にできるようにしたら、議会基本条例にそういうことをしっかり位置づけて、市民の皆さんにやりますよとそういうお約束をしていきたいなと思いますし、そういった折には、今、南但青年会議所の発言もありましたが、昔は議会ともいろいろ報酬の問題とか基本条例の問題で意見交換やったりしたことがありましたので、そういう輪をちょっとね、広げる今回きっかけになったのではないかということで、またよろしくお願ひしたいと思います。

【議会モニターA】 今、井戸議員の先日のオンライン懇談会についてという話が出たので、2番、項目の一般質問についてのところで聞こうかなと思って用意してたんですけど、今話題に出ましたのでちょっと申し上げさせていただきます。

井戸議員の質問ですね、項目3の①なんですけど、「先日の子育て世代とのオンライン懇談会で」って書いてあるんだけど、私ぱっと見てね、そのオンライン懇談会をいつやられたのか、誰がやったのか、全然情報がないんでね、わからなかったですよ。ほんで教育委員会事務局にこれ何のことって言って、オンライン懇談会あったそうだな、ちょっと内容を紹介してくれって言ったら、「それは議会のほうでなさったようですよ」と、そっちに聞いてくれて言われて、それから先はまだ聞いてないんですけどね、まあそういうことなんです。

それからあと、項目の②、ククナって書いてありますね。これも私、不勉強で、ククナって初めて聞いた言葉、何のことか全然わからへん。これは教育委員会のほうで教えてくれてですね、ククナっていうのは正式名称ではありませんと。養父市教育支援センターというのがあって、それを皆がククナって言っていると。学校行けない子の第三の居場所として、3年前ぐらいって言ったかな。設立されて、運用が始まってるといって、そんなときの設立の趣旨とかね、当然やり取りあったんだろうし、ちょっと紹介してくれるようなもん見せてく

れと1回頼んだとこなんですけど、わかりましたという返事ではないですね。そんなもんあるかな、ちょっと見てみるけど、ひょっとしたら公文書開示請求お願いするかもしれへんという言い方で一応終わりましたけど。そういうことでね、この一般質問の内容を見ても、ちょっと第三者にわからないところがあるんで、そういうのは議員さんが用意された原稿の下に※印でもつけて、アスタリスクで、イエナとは何のことですよとか、先日やったオンライン懇談会というのはこういうことだというようなことをね、ちょっと説明をつけるというようなことはできませんかといって、議会事務局に既に言いました。それやりますかね、それはできないとか言わないんですけど、今日場で1回言ってみてくれと。できるんだったらできるだろうし、そこまで面倒見きれへんということであれば、できないというようなことになるだろうというようにことをちょっと聞かせていただきました。

【議員 井戸 弘美】 私自身のところでいうと、次回から例えば名称なり、いつオンライン懇談会があったっていうのはですね、伝えさせていただきたいと、文中でね、文中でお知らせさせていただきたいというのも思いますし、今回ですね、珍しく議員の中では多分初めてだとは思いますが、宣伝のようなやつをですね、今回このオンライン懇談会がありますよっていうお知らせをですね、CM撮影みたいなのをですね、実は議員で撮ってまして、それをですね、できるだけ頻繁に流していただくというか。ちょっとそこでもやっぱり周知されないところはやっぱりあるんだなっていう、今日ちょっとわかったので、また違う形で皆さんにお知らせすることができないかっていうのも議論させていただきながら、今後続けていきたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【議会運営委員長 西垣 司】 一般質問につきましては、一応各議員から一般質問の事前通告書が出ましてから、議会運営委員会のほうで、例えば同じような質問が被ってないかとか、その質問の内容をある程度精査しまして、それで最終的な通告を、一般質問を行うということになっております。そういった形で、ただいま議会モニターAさんのほうから御意見が出ました。用語の説明ですね。そういった部分も含めて、今後議会運営委員会のほうで検討をさせていただきたいというふうに考えておりますので御理解をいただきたいと思えます。

【議員 西垣 勲一】 議会広報特別委員会の委員長をさせていただいておりますので、少し返答させていただきたいと思えます。今、絶賛編集集中の93号におきまして、議会改革推進特別委員会活動報告ということで、オンライン懇談会の開催ということで、詳細の記事を今作っております。4月15日の市の広報紙と同時のタイミングで発行予定で作っておりますので、井戸議員が一般質問ですぐに取り上げていただいたという、即効性のある一般質問であったとは個人的には思いますが、オンライン懇談会については、次回の議会だよりのほうで掲載予定になっております。

【議会運営委員長 西垣 司】 ということで、議会広報のほうもそういった方向で進めているということで御理解をいただきたいと思えます。

【議会モニターD】 議会報告会のホームページに上がっている報告書みたいなのをちょ

っと見させてもらったんですけど、参加者の女性がすごい少ないなというふうに思い、ちょっと気になりまして、逆に言うと体操教室、地区の体操教室であるとか、あとスマホ相談員をしてるんですけど、スマホ相談会とかは女性がすごく多いんですね、逆に言うと。議会報告会は私、何回か参加させてもらったんですけど、夜の開催が多かったように思ったんですけども、夜だと逆に女性が出にくいかなっていうのもあったりするのかなと思ったんですけど、今までの開催日時とか曜日とか、そういうのを何か今までされてこれた、されてきたのがどうなんだとか、男女比とか年齢層の参加とか、同じ人ばかりの意見になってしまうので、もっと幅広いいろんな参加者の方、先ほども話題に出てましたけども、オンライン懇談会みたいにいろんな層から意見をもらった方がいいのかなというふうに思うんですけど、その辺どうお考えなのかちょっとお聞きしたいです。

【議会運営委員長 西垣 司】 議会報告会におきましても、とりあえず議員を班分けしまして、4班あるわけですけど、その中で班長会議、また、それ以前に議会運営委員会のほうでいろいろ検討いたしました。先ほどおっしゃった中でもやはり時間を昼間にするとか、土日が出やすいとか、また、自治協議会じゃなしに各集落にまた変えるとか、そういった意見が出たわけですけど、過去にもそういったことをやったというような過去の例を踏まえて、また過去での経験の中で、やはり問題点があるとか、ここはちょっと壁だねというようなことがあったりしまして、現実的に今回問題になりましたのは、この定例会が終わって4月の20日から5月の連休前後ぐらいまでに議会報告会をやろうという日程を、各班で設定してるわけなんですけど、そういった中でやはりこの地域によっては4月の20日から5月の連休前後となると大変農繁期になると、昼間はまず駄目だよ、ということはやはり夜になってしまうねというようなことがあったりしまして、結局、今回は試験的にちょっと一部の班で若干ずらしてるところはあるんですけども、ベース的には従来と同じということになっております。ですから、議会運営委員会の中では、そういったことは議会報告会があるごとに再度見直しはしてるんですけど、少しずつはやはり変えていかなあかんと。例えば若い人が出やすいとかいうようなこともございますし、そういったことは検討しているということで御理解をいただきたいと思えます。

テーマ② 一般質問について

【議会運営委員長 西垣 司】 では、次の2番目のテーマに行きたいと思えます。

それでは、次に二つ目のテーマ、一般質問についてですけど、先ほども少し一般質問についての御意見等も出ましたけども、議会モニターの方からの御意見をこの一般質問でいただきたいと思えます。

この3月定例会につきましては、12人の議員が一般質問に臨んでおります。この25項目について取り上げました。皆さんのお手元にございます一般質問の一覧表と一般質問の内容というのが入っておりますので、こういった中でも質問がございましたら挙手して質問をお願いしたいと思います。

【議会モニターE】 津崎議員のときにも出てたと思うんですけど、このアンコンシャス・バイアスっていうのも最近使われだした言葉なんですけど、やっぱり議員さんなんかもアンコンシャス・バイアスということ、その〇〇〇〇が返事をしたなんてことなんですけど、やっぱりそこらが議員さんもそれから市民もやっぱりわかるような、やっぱり返事をしてもらえなかったら、テレビ見とって、アンコンシャス・バイアスって何のことやっていうようなことやったら、実際、当局がいいこと言って伝えられとって、やっぱり議員さんとか、もうやっぱり市民に説明せなあかんやろうし、市民かって直接、録画放送見ても意味がわからなかったら、やっぱりギャップがあるから。当局がいい質問しとって理解できないんだから、そこら辺とこはどういうふうに解釈したらいいんですかね。

【議会運営副委員長 藤原 芳巳】 アンコンシャス・バイアスに限らず、横文字をですね、あまりこういう時代がさせる業ではあるんですけども、横文字が非常に多いという意見はいろいろお聞きをしたりしております。

議会運営委員会のほうでも、できるだけその横文字を使う場合には、日本語で、少しわかりやすい日本語を加えるであるとか、そういった努力っていうのはしていこうねという、そういう方向性は持っています。

ただ、そうではありながら、いくつかやっぱり横文字だけで少しわかりにくい、先ほどのククナのことと同じなんですけども、それは何であるのかということがわかるような発言を心掛けるということは、一応共通認識としては持っているつもりでございます。言われるとおりで、横文字を使い放題っていうことはあかんと思います。ありがとうございます。

【議会モニターA】 議会モニター各位、養父市議会として、一般質問についてっていいね、郵送でいつもいただいて、こういうカバーレターがあるんですね。それでケーブルテレビではどこになっているとか、インターネットではこうなっているというようなことが書いてあって、議会事務局のほうにも私、意見何回か言ったことあるんですが、本来議事の関係とかね、画像、映像が基本にならないですね。文字起こしした議事録がもう永遠に残るものとして位置づけられてて、法的なルールになっていると言ってもいいんでしょうかね。そういうふうになってるから、議事録が3カ月ぐらいかかるんですか、正式なものになるまでね。そういうのも時間かかるけどもできるんですよ。それがオフィシャルなものの記録として残るといふようなこともね、ぜひカバーレターに書いてください、ということをお願いしました。

何かそれは書くともまずいのかなというような感じ。大多数の方はケーブルテレビで見られて、それで内容を知るといふ人は今多いのかなとは思いますが、公式な記録としては議事録、もう議員各位もよく御存じのとおりだと思うんですが、それが何十年、我々の社会の体制が終わるまで、なくなるまで、永遠に保存されるものという位置づけだと思いますんで、議会モニターにも、それはちょっと書いて出していただきたいという気がします。

それから続けて言いますけど、一般質問でね、私の気持ち、感情と言われたらそうかもしれないけれども、質問時間、残時間が残る方がありますね。非常にもったいないと思う。

もっと突っ込んで聞いてほしい。テーマは他にもいろいろと、養父市の何ていうか、問題になっている、課題になってることいっぱいあるじゃないですか。と言いたいんだけど、それはどうなんでしょうね。いつも拝見している浄慶議員なんか、いつも時間が足りないぐらいに一生懸命聞いておられるし。そういう時間ギリギリがいいとも言えないんだけど、やっぱり熱意を感じますね。そういうふうに聞いていただくとね。

ですから権利として、議員各位にあるんですから、もう目一杯ぐらい時間聞いて、使って聞いていただきたい。質問を見てるとね、Q&Aですけど、Q、それに対するAが出て、Aに対するQをまたすると、Q、A、Q、Aとって続くのが割と期待するところと思うんですけど、最初から議事出してあって、アンサーのほうも答えできてたら、Q、A、Q、Aとって続くのは、難しいということになるんでしょうかね。私それ、ちょっともう一度聞いておきたいなと思った。意味通じます、大丈夫ですか。

【議会運営委員長 西垣 司】 要するに議員側から質問をすると、それに対して当局からの当然アンサーが、答えが出てくると。その同じようなことが。

【議会モニターA】 それに対してさらに聞いていただく。

【議会運営委員長 西垣 司】 さらにこちらから質問をします。そしてまた、向こうから答えが来るといった形のやり取りというのが必要ではないかと。

【議会モニターA】 一つちょっと事例挙げさせてもらってもよろしいですか。この間の一般質問の中で、西田議員の質問でしたけど、外国人に対する防災の関係、ちょっといろいろ聞かれてて。〇〇〇〇かな、あの方がですね、ボランティアベースですけども、日本語を学ぶ会をやっておられる方がね、毎週木曜日に外国人集めてやってらっしゃって、そこでの説明をした、という説明をされたんですけども、それはもうその会だけが外国人が全員集う会じゃありませんのでね。やぶ日本語教室ですね。日本語教室に来てない人にはどうやって伝わってるんかと、ちゃんと説明できているんかとって聞いていただきましたかったし、それからその説明っていうのは、後で〇〇さんに聞いたんですけど、どんな説明、どんな言語でしましたかと、使用言語は何でしたかということも聞いた。そしたらそれは日本語でやらせてもらったと。やぶ日本語教室で、日本語がわからんから勉強に来とるんですけどね。やっぱり英語が達者な人なんかもあるわけですよ。そういう人には英語でしたらよかったし、英語で説明できるような資料ができとったら、割とカバーできる範囲広いんじゃないかなと思ったりして。ごみの捨て方なんかもよく、ごみも問題になるんですけども、環境推進課でね、割と気の利いた、英語のごみの分別こうしてくださいっていうね、イラスト入りのいいのを作ったんですよ。あんまり広げてないから知られてないけど。〇〇さんかな、商工観光課に座っている国際交流員に手伝ってもらってやったそうです。A4で10枚ぐらいあるんですけどね。非常にこなれたわかりやすい英語で出てる。そういうようなのは防災関係もできたらいいと思うから、〇〇さん、1回ごみのやつ、どんなん作ったのか見てもらってください、見せてもらってくださいということも、個人的には言いました。

そんなような話、突っ込んでやってもらったらよかったかなと私はちょっと思いました。

すいません長くなりました、以上です。

【議員 西田 雄一】 それ再質問でね言うべきだったと思うんですけど、ただいまの本当に意見でね、ありがたいというか、ヒントはいただきましたので、今後はちょっと気をつけて進めていきたいと思っております。

【議会モニターD】 一般質問で聞いててよく見かける、今回も塚本議員が言われてますけど、ケーブルテレビの制作番組でっていう話も出てきたりとか、先ほどもオンライン懇談会のお知らせをケーブルテレビでCMで流したっていう話も出たんですけど、私、ケーブルテレビ最近加入したんですけども、私が結婚した当時はですね、引っ越ししてっていうときにまだe o光じゃなくてケーブルテレビだったんですけど、そのときに新規加入するのすごい高額だという話を聞いて、ちょっと新規加入を見送ろうと思ってそのときは見送ったんですけども、うちの実家もケーブルテレビを繋がないでも普通のアンテナでテレビが普通に映るので、ケーブルテレビに加入する必要がないなって言ってる実家も入ってないんですけど、ケーブルテレビってどのぐらいの方が見られてるのかなというふうに思って、八鹿の人って結構見てない人が多かったりだとか、引っ越しや結婚のタイミングでケーブルテレビ新規加入する方がどれぐらいいらっしゃるのかなというふうに思って、ケーブルテレビ、何か若い層は見ておられるのかなとかちょっと疑問に思ったので、どのぐらい把握されてるのかなというふうに思いまして、ちょっと質問させていただきます。

【議会運営委員長 西垣 司】 ケーブルテレビの視聴率と、要するに加入率ということ。

【議会モニターD】 率じゃなくても、どのぐらいの層が見られてるとか、よくケーブルテレビのこういうのを流したらどうだという話も出てくるんですけども、市民の方、どのぐらいの方が見られてるのかなっていうのを御存じなのかなっていうふうにちょっと疑問に思ったのでちょっと質問させていただきました。

【議員 塚本 正彦】 どうも御質問ありがとうございます。私も全く同じように感じております。といいますのが、今回、実際そのやぶ医者大賞受賞者の特集のことを質問していたんですけども、実際のところ、本当に一番見てほしいと思っている子供さんたちが、養父市の子供さんたちがどれぐらい見ておられるのかなということも私も気になりましたので、教育長にどれぐらいの人が見ているんだということを質問したんですけど、それは実際見てもらっているのかということも含めての質問だったんですが、結果的に数字ということは把握できてないということだったんです。

正直な話、私自身もこの議会の一般質問のことなんかでも、すごくあのビデオが流してもらえてるということもあって、実際本当に僕らは、一般質問する我々議員は、できることなら少なくとも見ていただきたいという思いを持っているので、PRとかもこの日に流れますよとか言って、出会えた人とか連絡できる方には極力連絡をするようにしてるんですけども、実際のところ連絡しても、はっきり言って普段お忙しいので見てもらえないっていうのが正直なところであります。ですから視聴率というのは本当に低いと思いますので、私は極力自分の一般質問とか議会の中でどういうことが起こっているかっていうのを皆さんに

知っていただけたらという思いで、塚本正彦通信ということを発行して配っているというのが正直なところであります。本当はもっと見ていただけるような番組内容であったり、関心事であったり、いわゆる周知ができるようになれば一番いいなというふうに感じておるところです。

【議会運営委員長 西垣 司】 ケーブルテレビの視聴率ってやつは、今の段階では何%ってのはちょっと出ないということです。

それと、ケーブルテレビの加入されてる率、そこら辺は調べればわかるかなというところはあるんですけど、ただ先ほど議会モニターDさんがおっしゃってました、実家は若干映るよね、というところなんですけど、それについては八鹿の一部の電波事情がいいところは映るらしいと、それ以外の大変なところは、やはりe o光でなかったらあかんということもあるんですけど、e o光の当初のお金がどの程度かかるというのは、ちょっと今ここではお答えすることはできませんので、御理解いただきたいと思います。

他、何かございませんか。

【議会モニターA】 今、議会モニターDさんがおっしゃったことね、私も同じことで興味を持ちまして、情報課に聞いたことあります。どのぐらいの加入率かって。そしたら公的施設とか公民館ね。各集落の集会所なんかで契約してるところもあるんで。何世帯全部でトータル市内にあって、何世帯契約してるといのははっきりした数字はちょっと出しかねるとは言っていましたけど、大体8割方だそうです。

それからあと無線端末ありますね、防災用のね。あれも同じく聞きました。あれも同じぐらいでしたね、8割ぐらい。無償で貸しますよ、あげますよ、貸しますよかな、やってるんですけど、8割ぐらいしかつけてないということですね。また、個人的なことで恐縮ですけどね、私、今もうテレビ持ってないんです、受像機。そんなんもうケーブルテレビ見られたりしないですよ。何でもか言ったらね、もうだんだん目がちょっと視力が落ちてきたのと、やっぱり読みたい本が多いので、もう画像の方は諦めて、もうテレビは一切見ない。どうしても見たいのがあったら、私の場合ですけど、やぶ温泉とか行って、テレビ置いてあるから、それを見せてもらうということでやっていますんで、ケーブルテレビも見ることができない。もうあっちのほうの情報はあてにしません。そういうような生活の仕方をしてる者もおるということを知っていただくとありがたいです。

【議会モニターB】 まずはですね、私自身養父市がすごい好きっていうところで、前提にお話させていただきます。関宮のほうでも小さな拠点事業、エリア2のほうの住民会議にも参加させていただいておりまして、私自身はすごく養父市が好きっていうところで、住みたい街ランキング1位ってところは納得できるのですが、住みたい街ランキング1位、田舎ランキング1位ですかね、のところについて、何を基に、こういうふうな住みたい田舎ランキング1位っていうところになっておられるのかというところの御質問と、それに伴いまして、八鹿病院の4病棟、結局子供の手当等が厚いということで、養父市は率先していろんな施策をさせていただいてると思うんですけども、まず4病棟のほうで産婦人科の病棟が

なくなるっていうところで、まずそもそも無痛分娩等々の補助等も出しますよっていう方針で多分いってると思うんですけども、まずそもそもが産めないっていうところについて、議会の方々はどう思われておりますか。

【議会運営委員長 西垣 司】 ただいまの質問では、その八鹿病院の4病棟の分娩ということで、なかなか養父市では子供を産むことができないということに関して、議員の皆様はどういうふうに考えておられるかというような御質問です。これにつきまして、皆さんのほうからございませんか。

【議員 津崎 和男】 八鹿病院の分娩休止、もう4年ぐらいなるんですが、現在、産科、産婦人科のお医者さんが1人だけなんです。分娩、出産できるようにすれば、最低3人はいるとかっていうことを聞いたんです。働き方改革が始まってからもう6人ぐらい、医者が、産婦人科医がいないと出産、まあ分娩ができないということで、全国的にっていうか、今もう本来の医者不足の上に、特に産婦人科とか小児科医の医師の方は全国的に少ないような状態で、議会のほうも県に産科医をね、派遣を要請したりしたんですが、残念ながら兵庫県自体がね、但馬に産婦人科医は一つでいいよと、当初からね、豊岡病院だけでいいというような考えで、なかなか八鹿病院に産科の医師を派遣してくれるような状態ではなかったんですが、残念ながらそういう状態が続いてまして、議会としては過去、産婦人科再開、それから産婦人科の医師の確保は取り組んできた経過がありますけど、残念ですが今のようになっています。

【議会モニターB】 というのもやはり子供を増やしたい、人口を増やしたいというところの後押しといたして、やっぱり産めなかったらなかなか住みたいなとか、安心して出産したいなという方が少なくなってくると思います。なので、人口減少というところで例えば、その件に関しましては、朝来市のほうは出生率のほうが増えて、昨年よりも増えておりますというところはもう数字として表れてますので、ただ養父市のほうはそういう施策のほうはすごい手厚いなどという認識はあるのですが、やっぱりその出生率の問題がどうかなっていうところでまず御質問ちょっとさせていただきましていうところと、それに伴いまして、ちょっと私のほうでもその事業、今お客さんが来りますっていうところで、いろんな方々から御質問を受けてるんですが、結局はまず、養父市の中学校の部活の廃止とかっていうところで、結局子供を育てるに当たって部活がなくなったらどうするの、民間に委託しますよっていうところの提示がいまいちなされてないっていうところで、いろんな方々から、特に今の5年生ですかね、次、4月以降6年生になる子供たちが中学校2年生のときには、部活がどんどんなくなっていくっていうところで、その方が結局どう、部活に入ることか入らないのかっていうところと、プラスアルファして今の6年生、今年の4月以降の中学校1年生の方は3年生まであるんですけど、ただ、下の学年が入ってこなければ人数が足りなくて、結局は最後の総体等々に出れないっていう問題も出てくると思います。そういうところ辺の市としての進め方といいますか、人を集めるところに関しては、どういうふうに思われてますか。

【議会運営委員長 西垣 司】 部活の要するにこれからは、令和10年から地域に分散させるというようなことになりますけども、それについての意見ということでよろしいですか。これにつきまして、皆さんのほうから何か御意見ございましたら。

【議員 石本 毅】 ありがとうございます。地域展開がどういうふうに進むかっていうことについて、私も去年の今頃質問してたんですけどね、まだ始まるばかりのときにしたことがあります。どう考えたらいいんですかね、そうですね、確かに先生方の中にも、部活を私はやりたいんだと、部活やりたくて先生になったんだっていう先生も中にはいるようなんです、話聞いてると。そういうのがあるが一方で、先生方のっていうのが、部活にそもそもどこまで関わるべきかっていう話もあり、それと子供たち、子供を持つ人たちですね。そういうその方たちが何ていうんですか、部活にどこまで関わるか、子供たちもどの程度部活に関われるか、それが子供たちが満足いくような部活になりうるのか。そういったことも総合的に見ながら今、学校というかその教育委員会、そういう中で考えてると思うんですが、一方で議会モニターBさんがおっしゃったように、今いる子供の移行期ですね。どうするかっていうことについては、そうですね、確かに少なくなるというのがありますから、移行期なんていうのは。そこはすいません、私、手を挙げちゃいましたけども、私もちょっと答えというのがないんですけども、そこはちょっと、私も部活の地域展開ってこれ重要な話だと前々から思ってたんで、そこら辺はちょっとまず私自身が突っ込んでちょっと聞いて、私達も議会もそうかもしれないけど、ちょっと聞いていけないといけない話だと思います。大きな絵を言うだけじゃなくて、この二、三年どうしていくかっていうことだと私は受けとめましたので、この当座ですね、そういうことを受け止めましたので、そこはちょっとフォローしていかないといけないという話だと思いました。すいません、いいお答えができなくて申し訳ないです。

【議長 谷垣 満】 ちょっと補足という形で一つ、一点、先ほどの住みたい田舎ベストランキング、これ養父市なり但馬なりの自治体が大変よく出るんですけども、これ、基といますのは自治体ごとに新聞社のほうでアンケートを取りまして、要はこういう制度があるか、例えば給食無償化しているかとか、医療費を無償化しているかであるとか、通学バスはどうか、そういったものをアンケートを取られて、その結果が上位のところランキングとして上になってくるんですね。反対に言えば、どれだけ、確かに充実していることの評価にはなるんですけども、その制度はあるかないかだけでされておるので、実際移住される方がプラスになるかどうか、行きたいかどうかっていうのはまたちょっと別のランキングなんです。だけど一方で、それだけやっぱりそこに手厚くしてるっていうことは一つの移住される方の基準とはなると思うんですけども、反対に言えば、そこにかけてやっぱり大変お金をかけてる部分もありますし、自治体独自でやった部分もあるので、要は来てほしいランキング的なちょっと一面もあるというところもありますので、ただ、それぐらい養父市としてはやっぱり子育てに力を入れていきたいというのが一つの方向性でありますので、そういった意味で評価をしていただけたらということと、ただそれだけに上がったからよ

くなるわけではなくて、移住者が増えるわけでもないというので、実際それが移住とか少子化にどこに作用するかっていうのは議会としても見ていかないといけないので、このランキングでよかった悪かったっていうわけではないということです。

あともう一点、先ほど部活動の地域展開につきましては、私たちも議会のほうで方針を決められる前に、教育委員会からもありまして、次年度、改選前になるんですけど、総務文教常任委員会でも、もうこれはちょっと大きなことなんで調査をしようということで調査しております。そのときには確かに言われましたとおり、総体に出られないとか、やっぱり人数でそういう体験がね、できないことがまず第一に子供にとってはよくないだろうということなので、子供の体験の格差を生まないように、これを第一に前提にしていこうということはありません。

ただ、一方で今やっぱり人口が少ないので、どうしても親御さんの負担によって子供が参加できたりできなかったり、これは送り迎えの時間もありますし、部活動の費用もありますし、こういったもので世帯によってこういう体験格差やそれが起きてあってはいけないということで、その指摘と、あと行くための交通の手段ですね。親御さんだけに頼れないので、今の地域の公共交通と合わせて考える中で、子供たちがね、一緒にどこに行ってもできるような仕組みをしっかりと作ってほしいというようなことのまとめを委員会ではしておったところがあります。

それから今どんどん進んでおりまして、今日神戸新聞のほうにもね、詳しく出ておりましたけれども、今はクラブをまずしっかり集めて、あと地域クラブに行かれる方には補助金という形で、部活動ではないところで養父市も出したりはしておりますけれども、これから課題になりますのはやっぱり交通の距離、やっぱりみんなが集まるためにどうやってしっかり集まれるかの仕組みを作っていくといけないといけないなというところがありますので、言われますように当事者の方がね、本当にこれから心配になってるっていう今、御指摘もいただきましたので、今後はそういった方々の具体的にね、意見とかも踏まえながら、行政の進め方について議会としてしっかり提案なり提言なりを繋げていきたいというふうに考えております。

【議会運営委員長 西垣 司】 引き続きこの一般質問についての意見交換から進めたいと思います。この一般質問につきまして、皆さんのほうからご意見はございませんか。

【議会モニターD】 先ほどのちょっと追加なんですけども、ケーブルテレビのそのことで、何ですかね、視聴率とかはそういうふうにわからないとかそういうのあると思うんですけど、せっかく番組を作ってるっていうことで、それを何かインスタとかそういうものでPRしてはどうかというふうにちょっと思ったりとかもして。

今、この間豊岡でショート動画のセミナーがありまして、山陰地方で魅力発信をしているインフルエンサーのまさかずさんっていう方がおられるんですけど、その方がショート動画400万再生したとかいって、呼ばれてたりするんですけど、そういうインスタとかもあるので、そういう何かケーブルテレビで発信するばかりではなくて、そういうインスタとか、そ

ういうショート動画を作って何かするとか、あとはY o u T u b e で流すとかいうふうに、何かやっぱり最近若者もテレビ見てない人がすごい増えてて、そういうふうにあの媒体をちょっと変えていくとかいう工夫もされたらどうかなっていうふうに思ったのと、あとはそうですね、先ほどもちょっと言ったんですけど、新規加入、私は新規加入したいって思ったときに、市のホームページとかに、e o 光というのはもちろんあるんですけど、新規加入の案内が全然なくて、新規加入の案内をしないとどんどんどんどん見る人というか、加入していく人が減っていくので、何か新規加入の案内とかもね、移住した方とかにも何かそういう案内とかあるのかなというふうに思ったりもして、私が何年も、もう 10 年以上前になるんですけど、まだe o 光じゃないときにすごい新規加入するのがもうなんか6 万か7 万とかっていう時があって、そのときもうテレビを諦めてる人がいたんですね、もう大屋に住むっていうので、テレビそんな高いんだったらもういいわって言われてたんですけど、いうのもあって、そういう新しく見る人を増やすとか、減っていくばかりなんで案内とか、あとその媒体のY o u T u b e とかT i k T o k とか、インスタグラムとかっていうふうな何か工夫がちょっと必要なのかなというふうにちょっと思いました。

【議会運営委員長 西垣 司】 ありがとうございます。ただいま意見をいただきました。インスタで発信するとかY o u T u b e といった部分は、議会運営委員会でも数年前、過去にもこういった発信したらどうかといった御意見が議員の中からも出たといういきさつはあったんですけど、やはりそれはいろいろ問題も発生するだろうというような、あらゆることから対処していかないと、なかなかこれがすぐというわけにはいかないということで、そういう意見もあったということは御理解をいただきたいと思います。

それと新規加入につきましては、例えば移住してきた方といった部分については、おそらく当局、市のほうからこういう媒体が養父市にはありますよということはおそらく説明しているということで御理解いただきたいと思います。

【議長 谷垣 満】 ちょっと短めの補足で、養父市ケーブルテレビジョンのふれあいネットの一部の番組ですけど、Y o u T u b e でチャンネルを持っておりまして、まあ全てではないのですが、そこに上がってる部分があるということと、あと養父市のオフィシャルのほうでF a c e b o o k とインスタグラムをやっておりますし、今 233 条にも出ておりますとおり、再生数も上がっているということがありますので、議会としてもそういった媒体を使っていくというのは有効だということの話も出ておりますし、今回もそれこそオンラインの懇談会につきましては、ちょっとこれは公式なものではないんですけども、議員の範疇の中でそういうのをPRを入れてみたりとかしておりますので、今後のそういった推移も見ながら、有効なものをぜひ採用、活用していきたいなというふうに思っております。

【議会モニターF】 僕は議会の傍聴は来てないんですけど、インターネットで見せてもらってます。そしたら議長さんが、端的な質問、的確な答弁をお願いしますというようなことを言われてました。以前そんなのなかったかなと思ったりしたんですけど、どないかなと思います。私が見てないところでそういうのがあったのかもわかりません。

それから、答弁のほうもこういういい機会ですので、市民の皆さんにお知らせをさせてもらいますというような感じで答弁をされているので、やっぱり議会の審議時間をやっぱり有効に活用するような、そういうようなことをされているんやなというようなことは思うんです。

ただ、そういうふうにもされていても、やっぱり自分が見ようと思わないと、インターネットも見れません。それから、ここにも足を運んでみようというふうにも思わない限りは、実際にやられている活動が見えないわけですね。だから、本人のそういう意思なので、だから普通テレビでばあっと映ってるのを自然に見てるっていうんじゃないかと、もう意識しないとあかんということで、そういうことを考えると、一番最初のところのインターネットでの、ごめんなさいね、いろんな方の意見を聞いたりするっていうのがありましたが、やっぱりそういうところへんで、いろいろと意見を述べたことが、実際に議会の中で生かされているというようなことがわかれば、そういうことに興味を持つ人が増えるだろうし、それからやっぱりいろいろと意見を言おうという方も増えてくるんじゃないかなと思うので、そういう機会をやっぱり大切にしてもらって、議会ではこんなことしてんだよっていうようなことを言っただけならというふうにも思いますし、それから次の問題にある、議会報告のこの議会だよりですけど、そういったところ辺もちょっと読めるようになっていうか、興味を持って議会見に行こうかなとかっていうような、そんなふうな議会だよりやったら、ええかなというふうにも思いますんで、なかなか難しいことかもわかりませんが、努力をさせていただいて、何とか興味を持ってもらえる人が多く増えるように考えていただいたらというふうにも思います。

【議会運営委員長 西垣 司】 最初の的確な質問、的確な答弁ということで議長、いかがでしょう。

【議長 谷垣 満】 その部分だけということで、数年前からですね、2期の終わりぐらい前からその文言で口述に入っております、的確な御質問と簡潔明瞭な答弁に努めていただきますようにということっております。ただ、これは答弁自体を短くしてほしいという意味の趣旨ではなくてですね、やっぱり議会運営上の中でやっぱりお互いに理路整然としっかりとしたあれを持って、やってくださいよというお願いでありますので、短くという、ただ、文言としては簡潔明瞭と言われると少し語弊があるかもしれないので、またそこは検討させていただきたいと思っておりますけれど、ただ今期に入りましてから議員の一般質問の持ち時間は30分、議員の発言が30分というふうに決まっております、これは申し合わせの中で決めているもので、これは変わってはいないんですけども、ただ全体の時間としまして、今、30分使い切る場合に1時間を超えるようなこともありまして、結果的に当局的答弁のほうは30分より長いようなこともあったり、議員の発言時間よりも大変長くなってしまおうと、やっぱりこれはお互いの中でも、議事運営上のね、やっぱりあんまりよろしくないかなというふうには思いますので、やっぱりもちろんしっかりと、議員の発言は簡潔明瞭にというのはもう明確な一番の大前提のものでありますので、お互いにそこを考慮

しながら、特に聞いておられる方がやっぱり趣旨が理解しやすくてわかりやすい質問と答弁に努めてもらう上で、議員の発言、当局の答弁が市民の方と共有できるようにしてくださいというようなお願いでありますので、ちょっと文言についてはまた検討させていただきたいと思います。

【議会運営委員長 西垣 司】 もう一点、議会の傍聴者が増えるといったような提案として、一つは議会広報の取組についてのPRはどうかという御質問がございましたので、これにつきまして議会広報特別委員会の委員長であります西垣勲一議員、いかがでしょう。

【議員 西垣 勲一】 広報特別委員会としてというよりも、僕、個人的な思いで少しお話しさせていただきたいと思うんですけども、確かにこの議会だより、非常に読みにくいというか堅いと個人的には思っております。もう少し読みやすい形であったり、もう少し遊び心があるような作りができて、読者の方が読みやすいものにできたらなどは個人には思っておりますけれども、今回準備させてもらってますのが、3月定例会の議会だよりを4月15日に発行するというので、3月定例会は3月25日が最終日ですので、とてもとても構成が忙しいという中で作業をしております。

そんな中で、各委員会であったり、議員各自からの一般質問の記事等を組み合わせて作るような状態になっていきますので、あまりレイアウトであったり、遊び心を入れる隙間がなく、期日に追われるというような形で、少し読みにくいような議会だよりに仕上がってしまっているのかなと思いますけれども、速報であるということであったり、なるべく早く出すことに意味があるということを重視しておりますので、このような形になってます。引き続き読みやすい議会だよりというものは目指していきたいと思っておりますので今後もよろしくお願いたします。

【議会モニターG】 PTAとしてというか一保護者としてなんですけれども、今年度、私も議会モニター初めてさせていただいたんですけども。

多分、今年度で学校関連に関する一般質問を上げていただいたのが、多分10件ほどあったとは思んですけども。この一般質問に学校関係の議題を上げようって思う議員さんの経緯といいますか、どういう、保護者だったり一般市民の方の意見を聞いてそういう質問をしようと思うのか、個人的に思うのか、そういう経緯がちょっと知りたいなと思うんですけども、お聞きしてよろしいでしょうか。

【議会運営委員長 西垣 司】 ではこの度の一般質問で学校関係の質問をされた議員、お答えはございませんか。

【議員 塚本 正彦】 まず今回学校関係ということで、私が給食センター絡みとか学校の教育あり方検討委員会とかっていうことをテーマにこの3月議会では質問をしました。

一般質問をその経緯っていうことでお話ししますと、やっぱり実際自分たちが市内を回っていて、いろんなお話を聞くことにやっぱり一番、どういう関心事が高いとか、どういう熱意を持ってお話をされたとか、そういうことを感じて、自分が質問のテーマを作っていくというのが正直なところなんです。当局の答弁はいわゆるチームで作れるわけなんですけ

ど、議員の一般質問というのは、多分ここにいる者みんなそうやと思うんですけど、結局1人でその感覚でずっといろいろから、ネットとかいろんな情報とか、地域の人から聞いてきた話で組んでいくっていうのを繰り返していると思うんですね。

そういった中で、今回私が学校の関係を質問したというのは、前回の、当然今、人が減ってきていますから、ウォーターPPPと学校の関係とか給食センターのこととかいうのを質問しました。その中で、一般質問したことの経緯をまた市民の皆さんへ報告という形で、自分で発信してるもんで、してるんですけども、それに対するまたレスポンスが非常に高かったということが一番、今回の質問にした当然の経緯でありますし、それを市民の人から聞いたからってということだけではなく、自分にとっても今後の養父市の向かっていく方向とか、将来の教育のあり方についてはどうなのかという、最も自分もこれは重要なテーマというふうに感じたのが、今回の一般質問になった経緯でございます。

【議員 井戸 弘美】 私の場合はですね、自分自身が子育てをもう終えてまして、その中でやっぱり相談を受けることっていうのがかなり多くなってます。その中でやっぱり必要性ですね。いわゆるその市でできることだったりとか、または片や自分だったらこういうふうにしたい、もしくは、養父市でこういうことが起こってるんだけどそれを知らないんだっていうことを、一般質問でわざとちょっと馬鹿になって、こういうことってどうなんですかっていうふうな尋ね方をしたりとか。ていうことで、当局の方に答えていただいて、その答えを皆さんに知っていただくっていうような感じの流れを作っているのが現状です。

ただ、子育てを終えたからこそ言えることでもありますし、今現在の人たちがすごく悩んでいることだったりとかっていうのは、私も通ってきた道ですので、ですんでやっぱりその中で、やっぱり一個一個、皆さん一人一人が一つでも悩みがなくなっていくような形が、それが一般質問に繋がるんならそうしたいなっていう思いで取り上げさせていただいているような状況です。

【議員 津崎 和男】 学校関係、特に学校給食の無料化について、私も何回か一般質問で取り上げておりまして、そもそも自分の公約で学校給食無償化、無料にせいということで、取組をしておる経過もあつたり、それから但馬の中でも新温泉町と香美町、それから朝来市も無料化になっているので、養父市もやっぱり無料化に取り組んでほしい。特に物価高とかということで、年金とか給料が物価高に追いついていないんでっていうことを、市民の立場から給食費の無料化を訴えてきました。なかなか当局はうんとは言いませんが。

【議会モニターG】 声を聞いて上げていただけてるんでしたら、すごくよかったなと思ってるんですけども、なかなかこの学校、保護者と議員さんとの距離が遠いなっていうのを日々感じておりまして、この前のオンライン懇談会はすごくいい機会だったなっていうのは思います。もっと各学校、地区によっては悩み事がいろいろであつたり、これから統合の問題とかがどんどん出てくる中で、もっと学校に入ってきてほしいなど。オープンスクールであつたり、開放しているときに議員の方もちょっと様子を見ていただいたり、子供たちの

顔見ていただいたりもうちょっとこう、子供だったり保護者だったりとの距離を縮めていただけたらなとちょっと個人的に思っております。

【議員 津崎 和男】 今回の議会でもね、学校と議会との関係があったんですけど、以前はそうじゃなかったんですけど、コロナ以降、学校行事に議員が招待されなくなってね。以前は運動会とか入学式、卒業式は必ず通知が来て、出席はしよったんですけども、コロナ以降全然なしになって、コロナが収まってからもないんで、ちょっとそれはどうかなということ、来てくれと言われたら行くんですけど、その辺のところがあるんで、これからも招待なしでも参加しようとは思いますが、何かの機会に。

【議会モニターC】 今回、一般質問の中で気づかせてもらったことを質問します。時間も押しているので、可能な限りでいいんですけども、今回私が感じたのが一般質問の、先ほども出ていましたけれども、学校であったり子育てであったりとかってところの質問、共通の質問という形でリレー形式のようにずっと進んでいたように感じています。これは私がすごく画期的なことではないかなと感じています。

実際に可能であれば、それに携わられた議員さんの方々の、今回それを試してみてどうであったか。もしくはこういう思いでやってみただ、ていうのがありましたら、それぞれの方の御意見をお聞かせ願えますでしょうか。

【議員 塚本 正彦】 ありがとうございます。今回、当然自分はどういう質問をするかっていうのを、議員間で事前通告というのがあって、いわゆる本通告というのはあるわけなんですけども、その中で今回教育関係でいったら、私と深澤議員と浄慶議員、この3人が通告が割と同じテーマということが感じられたので、ただ、議員の質問時間が30分ということですし、なかなかねこういう質問したいっていうことで返ってきた答えに対して、こう返してほしいというようなね、それを期待するということが、十分私もそうしたいと思うんですけども、なかなかやっぱりこの議場に立ってね、時間の制限がある中で、しかもこっちは通告30分ということで、それこそ先ほどおっしゃっていただいたように、時間を目一杯に使えるようにということで、いろんな質問を通告してますので、間に入れるってことは非常に厳しいのが現状なんです。ですから、議論を深めるためにということで、今回は実は同じ通告に絡んでた深澤議員であったり浄慶議員と事前にこういう質問をしようということで、より重層的な議論を深めていただけたらということで、連携をできたのかなというふうに思います。同時にそれプラス石本議員の質問によって、また同じテーマということが繋がっていったので、石本議員もそこに何か加わっていただいてっていうのはおかしいですけども、そういった関係で今回は確かに議論が深まっていたのかなと。また今回のこの過程を今後の議会としてどのようにしていくかというのは、また改めて議員間で、これはこの4名の議員以外にもですね、全ての議員の間で、どういうふうなテーマでしていくかというのは広げていく必要があるなというふうに感じました。次は深澤議員にお答えいただきます。

【副議長 深澤 巧】 今、養父市議会一般質問する前に、同じテーマが重なったらあかんということで、事前通告、事前に一度議員同士でどんなことをするかという概略的な通

告書を出すようにしています。それを見て同じものがあつたら、もう誰かに頼むとか、それから自分を省くとかというようなやり方を今までしてきました。今回、特に学校の統合というすごい大きな問題が出てきましたので、当然その事前質問の通告の中で、先ほど言われた3名の議員が同じだということで、メールや電話で確認し合ひまして、ならば重ねて、重層的というのは単純に重ねるんじゃないかというような話がまとまりまして、実際の本通告の詳しい通告もメールで交換しまして、大体この議員はこのことを言う、次はこれという形で先発ピッチャーが塚本、私がもうリリーフピッチャーで、最後の抑えを浄慶議員にばしっと決めていただくという、そういうほんま話し合いをしたんです。だから今回そういうことが実現されて、それを今見てくださってるということ、感じてくださってるという意見を今聞きまして大変嬉しく思っておりますし、今後、今塚本さんが言われたように、大きな関心事は単に重なるんじゃないかと、こういう連関していくようなね、それと同時にこの1回きりの発言で終わらんように、やっぱりテーマを追求していく。議会としてテーマを取り上げていくっていうのがね、個人の一般質問だけじゃなくてそういうやり方もあるんだなということを気づきましたんで、今後の一般質問のやり方等につきましてはね、一つのいい練習になったかなと思っています。ぜひ生かしていく、いきたいと思ひます。最後、抑えの切り札の浄慶さんです。

【委員 浄慶 耕造】 ありがとうございます。私、最後にさせてもらったんですけども、非常にありがたかったのは、答弁しますよね、教育長が答弁したり市長が答弁したりするんですけども、その中身を我々ここで議場でずっと聞きながらメモしたりもするんですけども、やっぱり抜け落ちることはね、結構あるんですよ。それを塚本議員や深澤議員のほうから、こういう答弁なんだというそのやつで、今はちょっといろいろ録音の機械がいいのがありましてですね、文字になるとかかっていうのがありますんでね、そんなやつを見せてもらったから、どういう答弁をするかということこれはもうわかった上で、私はもうやらせてもらって、同じ答弁をした上で、どういう視点を提案するかということでやらせてもらえたんで、非常に私はありがたかったし感謝してまして、そういう面でもまた市民の方がそこを理解してもらえることができるとなれば非常に嬉しいかなということを思ひました。

【議員 石本 毅】 番外編ということで私も言わしていただけたらと思ひます。私も一応教育とかね、子供とかまた違った観点で言わせていただこうと思ひて、だからそういう意味でいろんな論、まあ言ったら今年が、今回が大林市長の2回目の予算編成ということで、かなり政策が変わってて関心事項がその子育てや学校の再編とかかっていうのは、それぞれテーマが結構大きく変わったところがあつて、議会の関心も相当、関心事項をきちっと押さえていかないといけないなっていう意識が多分相当あつたと思ひます。

だからそういった意味で、ただ単に事実関係を、今の小学校4年生の学生さんはそれぞれの地域で何人いますかとかっていうような、そんな事実関係じゃなくて、関心事項に応じているんなところから攻めていって市長の考えを聞くというようなことで、結果として私も議

会モニターCさんがおっしゃってたように、いろいろなところから攻められた結果として、リレーのようになってるっていうような流れになったんじゃないかなと。我々議会にとってもある意味一体感というか、そういう気持ちを持てたんじゃないかなっていう気がしております。

ただ、議会モニターGさんがおっしゃったように、子育て世代へのアプローチというのはもっともっとやっていかないといけないなという気持ちも同様に持っております。

【議会モニターH】 養父市文化協会のほうから選出されています議会モニターHです。この文化協会っていうのは、旧4町の文化協会の集合体なんですけども、本日は特に文化協会から一般質問に対する意見はございませんので、私が普段気になっていることを少しお話したいと思います。

12月の議会で塚本議員が関宮小さなまちづくり拠点整備事業のことについて質問されていまして、それに対して当局は答弁してましたけども、その当局の答弁が非常に簡単で、内容がわからなかったもので、ちょっと私が言うことがまた、だぶったことになるかもしれませんが、来年4月1日からこの小さなまちづくり拠点の整備事業が運営が開始されます。それで、これは皆さんっていうか市民の皆さんもあまり御存じじゃないと思うんですけども、要は国が少子高齢化対策として打ち出している非常に大切なプロジェクトなんです。例えば市の職員さんそれ知ってるんかとか、議員さんは御存じなんでしょうけども、市民自身がそれについて十分知っているかどうかをちょっと疑問に思ったりもしております。

それはいいんですけども、要はちょっと私が気になるのは、例えば、そうなる場合、4月、来年4月になってるはずですよ。例えば、現在の地域局はそのまま置いておくのかとか、それから公民館はどのようになるんだろうとか。それから各小学校区の単位でまちづくり協議会っていうのを作っていますけれども、それはどうなるんだろうとか、それから社会福祉協議会は、それぞれの町にもありますし、全体にもあるんですけど、それはどうなっているんだろうとか。例えば議員の間でも検討されたりもしておられるだろうとかということがちょっと気になる場所なんですけども。

【議会運営委員長 西垣 司】 ありがとうございます。この件につきまして、今回の広報紙にも上げてるんですけども、関宮小さな拠点（仮称）につきましての中間報告というものを上げております。これは1月の16日に小さな拠点特別委員会を開催いたしまして、現在の執行状況であるとか進捗状況、そして今後の見通しにつきまして当局からいろいろご説明をいただきました。まだ最終的な運営関係については、まだ募集というようなこともあったりはしますが、これは随時、この特別委員会を通じまして、皆さんにできるだけアナウンスするようにしたいというふうに考えておりますので御理解をいただきたいと思っております。

失礼しました。92号にはまだ載ってないんで、93号の4月の15日以降に配付されるといった、この日よりには上がってるということで、また、それが着きましたら御一読いただきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

テーマ③ 議会だより第92号について

【議会運営委員長 西垣 司】では次の最後の時間も迫ってまいりましたので、議会だより第92号についてということで質問をいただきたいと思います。

これにつきまして、議会だより全般になりますけども、御意見をいただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

【議会モニターA】議会だよりについての意見を言わせていただきます。92号を主に見ますが、一般質問の内容の中に写真が貼り付けてあるんだけど、どこの写真なのかよくわからないのがある。キャプションをちょっと詳しくね、もうちょっとつけていただきたい。大体みんなわかるんですけどね。どこの写真を撮ったのかというのが、説明がないものがあります。

例えば、深澤議員のやってらっしゃる「市内の表流水 水源地」というのは、どこの写真だろうと見てわかりません。川瀬議員の写真「堆積する土砂の早期撤去が望まれる」というのも、八鹿付近だというお話を聞きましたけど、ちょっとわからない。それから前田稔議員の写真もそうですな。「20年後も草刈りと獣害対策」って書いてあるけどもどこなんだろう。綺麗にしてあるなと思って見たんですけどわかりません。北山愛議員の「養父市の自然」というのも、鉢伏かなと思うけどわからない。そのあたり今後ちょっと詳しいキャプション見て、一目瞭然にわかる説明をお願いしたいと思います。

それからですね、非常に細かいんですけど、穴開けはもうやらなくていいんじゃないでしょうか。市の広報紙もやめてしまいました。豊岡市がですね、3年ぐらい前かな、やめましたね。議会だよりもやめたし、市の広報紙もやめたし、農業委員会だより、それからあとちょっと別のくくりですけど、社協の豊岡NICO（ニコ）って言ってますけどね。ニコニコのニコらしいけども、そういうの全部穴をやめました。その代わり黒いパンチを開ける穴の位置と、それからセンターを決めるくさびがちゃんと書いてあって、穴開ける人は自分で開けてくださいというふうになってるという形ですね。私の思いですけど、個人でそれは家に置いておかれてもいいけども、我々のところも図書館できたんですから、こういうものはもう永年保存、図書館がやってくれるんで、そこの大切に使うという形でいいんじゃないかなと個人的には思っています。

それからあとはですね、見ててですね、病院議会、それから南広議会っていうんですか。そちらのほうに皆さん出ておられる、手分けして出ておられる。議長は両方出ておられるというふうに聞いてるんですけど、そこでの議会での議論が全然知ることができない。まあ、どうなんだって、病院議会だったら病院に行ったら、議会担当者っていうのがいて、ああですよこうですよとか、資料見てくださって出してくれるんですけど、それをなかなかできる人、できるのは工数がかかりますんでね。紙をちょっと増やしていただいて、その2つの議会の分の出席なさってる議員の見方での議会、報告、レポートっていうのをちょっと増やしていただけないかなと私は思いますね。

病院にしても南広にしてもね、それぞれ自分のところの立場での広報紙は出してますけど、当然見方とか、見解は違ってくると思いますので。

【議会運営委員長 西垣 司】 ありがとうございます。ただいま議会モニターAさんのほうから、この写真の詳細な説明が少しわかりにくいといった点と、この議会の広報紙に対しての穴開けのパンチがいらんのではないかという点と、もう一点、各議会、特に南広、そして八鹿病院との議論の部分の一つの文章的なものがほしいといった部分の御質問がございました。これにつきまして、広報特別委員長いかがでしょう。

【議員 西垣 勲一】 一応、今お聞きしたことに對して、返答になるかどうかわかりませんがお答えします。写真につきましては、今回3月定例会の記事を出していただくというお願いのときにしっかり写真の言葉を伝え、各全議員にお伝えしました。写真をはっきり撮ってほしいとか、キャプションをしっかりとつけてほしいということはもう、全員協議会などでお伝えしましたので、次号ではしっかりした写真を皆さん準備していただけるものと思っております。

また穴開けに関しましては、市の広報紙が穴を開けるのをやめたということで、かなり予算のほうで縮小されたということは聞いていますので、議会だよりでも、今後このこちらの穴開けのことに關しては、予算的なところも踏まえて考えていくべきかなとは思っております。

あと3番目の八鹿病院と南広のことなんですけども、議会だよりは16ページという限られたページ数で行っております。八鹿病院と南広については八鹿病院議会、南広議会のあった出来事を紹介するというので、前の前の前ぐらいの号はあったんですけども、この16ページのページ制限の中で養父市の議会をしっかりと取り上げていくべきじゃないかということで、八鹿病院ニュースであったり、南広だよりと中身がほぼほぼ同じような記事になってましたので、議会だよりのほうからは、最近は入る隙間がないということでよけております。

また先ほどおっしゃられたように、八鹿病院や南広のほうで議論があつて、その議論の内容を議会だよりに載せるということであれば、載せる意味はしっかりあるかなと思っておりますので、その辺も含め今後相談していきたいかなと思っております。

【議会モニターE】 聞いてみたいんですけども、豊岡病院とか八鹿病院とかに各課の社会福祉課とか、こども学び課から情報っていうか、制度と仕組みの情報が伝わると思うんですけど、そこの議員さんたちは豊岡病院にどんな制度の仕組みが情報提供されてるっていうのを知っておられるかなと思ったりして。だから市民はやっぱり赤ちゃん生まれて、こういう制度と仕組みがあつたらとかいうのは、そういうのを豊岡病院から情報提供をもらって、やっぱり議員さんに伝えてるわけやから、議員さんが制度と仕組みをどこまで、どの議員さんが、古い議員さんはやっぱり自分たちが作った制度の仕組みはわかってるだろうけど、新人議員さんなんかも、どこまで制度の仕組みが、僕かって豊岡病院去年、網膜剥離で入院して、眼科から制度の仕組みっていうのをもらったけど、やっぱり10年も20年も

前に作ったやつやからほとんど使い道がなかったんですけども、そこらはもう、やっぱり何で市民が議員さんにどんなところかなっていうのを知っておいてもらわなかったら、やっぱり各課の社会福祉課とかいろんな健康医療課にしても、豊岡病院、八鹿病院に情報提供しとるんやから、やっぱり養父市役所の職員さんもちょうと仕事してる人もおるんやから、そこは何て言うんか、議会のネタを探すこともやっぱり職員さんに今に合わない仕組みはないかということも確認された上で、やっぱりさっきのあれじゃないけど、質問を作られとるんかちょっと聞いてみたいんですけど。素朴な質問で、聞いてるって言われたらそうかわからんけどもそこはどうなんですか。

【議会運営委員長 西垣 司】 ただ、豊岡病院の仕組みについては、やはりそういう情報は我々議員としても、やはり.....。

【議会モニターE】 自分たちが作った制度と仕組みじゃないですか。

【議会運営委員長 西垣 司】 いや、豊岡病院でしょ。

【議会モニターE】 何かそれでやっぱり、豊岡病院にしても八鹿病院にしても、こういう制度と仕組みがあるから.....。

【議会運営委員長 西垣 司】 それは八鹿病院に限ってですか、豊岡病院ですか。

【議会モニターE】 両方、両方。

【議会運営委員長 西垣 司】 豊岡病院ははっきり言いまして管轄外というか、そういった養父市とはまた全く違いますから、ほんなら八鹿病院でのそういった一つの仕組み、どういうことですか。

【議会モニターE】 要はこういうことで、要は社会福祉課なんかやったら1級、2級とか5級、6級だったら障がい者手帳交付になるとか、診断書によっては。だから、そこらも今回のバス券なんかでも、障がい者やったらバス券が、今65になるけど、70歳でなくても発行できるじゃないですか。だからそこら辺のところとか、いろんな1級から6級までに対して、その社会福祉課が情報提供して、やっぱり患者さんにこういう制度があるけど使われまわすかっていうことを聞かれるから。だからさっき言ったように、5級、6級というのは持つとってもいいことないから、やっぱりみんな申請はしてないんやけど、だから今の時代に合ったやっぱり制度と仕組みがなかったら、病気になっても安心して暮らせないですね。僕だから、僕的に言えば7年前に大動脈乖離したけど、血管やから障がい者にならないから、頑張ってるって保健師さんにずっと助けてもらったけど、心臓の血管3本下げても助けられないと言って、もらえないんですよ。自分が生きていかな。だけど大動脈弁やったら、障がい者にはなるという。そういう同じ心臓の薬を飲んでも、やっぱり血管と弁とはどう違うんだということも自分でなりましたけど。

【議会運営委員長 西垣 司】 その都度また議員も八鹿病院のそういった部分については全てが把握されているといった部分ではないですし、またそういった部分は議員にも相談していただきながら、また当局にもそういった内容的なものは御紹介して解決させていただくという方向でしか、今はお答えすることができないかなというふうには思うんで

すけど、その辺でいかがでしょう。

【議会モニターE】 制度の仕組みが、どんなものが社会福祉課から情報提供するというのはやっぱり、改めて議員さんもやっぱり知ってほしいですね。

【議会運営委員長 西垣 司】 わかりました。皆さん、まだいろいろ御意見などもございますでしょうけども、大体時間が定刻の12時になってまいりました。

ここで、本日の1番から3番までの皆様の御意見につきまして、少し簡略的にまとめましたので、また抜けている点があるかもしれませんが御報告させていただきます。

まず最初の今回の議会の取組として、高校生との意見交換におきましては、やはり高校生からのテーマを決めてやるというようなことの提案もございました。これにつきましては、またしっかりと双方と話しながら進めていくということを今後を考えていけたらどうかというふうに考えております。

それと以前のこども食堂という部分につきましては、やはり私もそうでしたけども、なかなか都会のこども食堂というのは貧困的な部分があるというようなことがあったようですが、この地方においてのこども食堂というのは、そういうのも含めまして、やはり高齢者の方、また近隣の社会的な一つの要素の中で、やはり進めるといった形での地方と都市部とのこども食堂の意味合いが若干違うといったようなことの提案がございました。

そして、一般質問につきましては、やはり横文字が多いということで、これにつきましてはできるだけ、知られないような横文字はやはりできるだけ避けるというようなことも考えなければならないと。

そして時間を精一杯議員は使って、時間を有効に使って質問するというような御意見、そして、この他に一般質問については、養父市の教育のあり方につきましては、やはり学校運営協議会委員、そして保護者とのひとつの距離があるんじゃないかというようなことも伺っております。

そして関宮小さな拠点におきましては、市民全体、これは関宮だけに限らず、やはり養父市全体の一つのこの行き場といいますか、そういった部分があるという理解していただくというようなことをやはりもっとPRすべきじゃ、アナウンスすべきじゃないかというような御意見もいただいております。これにつきましてはまた、この93号の広報紙についても上げておりますので、皆さんまた御一読いただければよろしいんじゃないかと思えます。

ただいま簡単に申しましたけども、これはしっかりとまた皆さんの御意見を議会運営委員会もしくは全員協議会で協議、また勉強会を行いまして、市民に少しでも反映できるといった形で進めてまいりたいと思っておりますので、御理解をいただきたいと思えます。

時間の都合で、この辺で本日の意見交換会は閉会したいと思います。

閉会は、藤原議会運営委員会副委員長から御挨拶を申し上げます。

5 閉会（～12：08）

【議会運営副委員長 藤原 芳巳】 皆様、お疲れ様でございました。

モニターの皆さん、議員席の座り心地はどうだったでしょうか。少し議員の気持ちにもなっていたのかなどそのように思います。今回もたくさん御意見をいただきました。本当にありがとうございました。

議会モニターの設置ということもまた、議会改革の一翼を担うものとして非常に大事なものと認識しておるものでございます。

議会というのは、こう議事機関でございます。それで、この16名の議員がそれぞれの切り口で議論を行いまして、この市民にとっての最適解というものを求めていくという終わりのない活動でございます。もちろん当局とともに、ということでございます。これは私、個人的にはそう思ってるわけですが、当局の提案を何とか変えていく、こういう努力をしていく、その後押しを議会モニターの皆さんにもしていただきたいなと思うわけでございます。

今後ともですね、モニターの皆様には議会を注視していただきまして、御意見を賜りますようお願いを申し上げます。

これをもちまして、令和7年度の議会モニターと議員の意見交換会を閉会いたします。どうもお疲れ様でございました。ありがとうございました。